

【参考1】

表 明治36(1903)年から明治38(1904)年における竹島のアシカ猟に従事したグループ

和暦(西暦)	住所	組名(代表者)	備考
明治36(1903)年 <2組>	穩地郡五箇村大字久見 周吉郡西郷町大字西町	石橋松太郎組 中井養三郎組	従業者古川幸太、井口龍太等
明治37(1904)年 <5組>	穩地郡五箇村大字久見 周吉郡西郷町大字西町 周吉郡中村大字港 山口県人 周吉郡西郷町大字西町	石橋松太郎組 中井養三郎組 井口龍太組 岩崎組(岩崎某) 加藤重蔵組	韓国鬱陵島より韓国人を連れてくる
明治38(1905)年 <9組>	周吉郡西郷町大字西町 穩地郡五箇村大字久見 山口県人 周吉郡布施村大字飯美 周吉郡中村大字港 知夫郡黒木村大字宇賀 知夫郡浦郷村大字浦郷 周吉郡中村大字下西 鳥取県東伯郡赤碕町赤碕	竹島漁獵合資会社 (中井養三郎) 久見村組 岩崎組(岩崎某) 飯美村組 (飯美村某外2名) 井口組 (井口龍太・永海寛市組合) 脇田組(脇田庄太郎) 浦郷組(門某外2名) 下西組 (下西村某・西町石井某組) 赤崎組(錢本某等)	橋岡友次郎外10名 飯美村某は布施村の山根房松の可能性が高い 韓国鬱陵島より韓国人を連れてくる 韓国鬱陵島より韓国人を連れてくる 下西村某は下西村の甲邊由吉、西町石井某は西郷町西町の石井忠太郎の可能性が高い 錢本某は錢本莊八

出典:『竹島関係資料集 第二集 島根県行政文書一』、島根県公文書センター所蔵『竹島貸下海驢漁業』

- 明治36(1903)年以降、久見のグループと、西郷の中井養三郎組が一貫して出漁している。
- 韓国人だけのグループは存在せず、韓国人と競争になっていない。
ただし、明治37(1904)、明治38(1905)年山口県人岩崎組が鬱陵島の韓国人を引き連れて出漁した。
また、明治38(1905)年には、島前の脇田組と浦郷組も鬱陵島の韓国人を引き連れて出漁した。
- 明治37(1904)年、明治38(1905)年と急激に出漁するグループが増加し、濫獲が懸念される状況であったことが確認できる。